

斑点米カメムシ類

令和8(2026)年7月21日
塩谷南那須農業振興事務所
に注意！

- ・塩谷南那須地域では7月13日ごろから水稻の走り穂が見られています。
- ・周辺に比べて早く走り穂が見られたほ場では
斑点米カメムシ類の大量発生が確認されています。
- ・今後、他ほ場でも斑点米カメムシ類の発生が予想されます。
ほ場をよく観察し、斑点米カメムシ類を発見したら

①乳熟初期と②その7～10日後に

必ず薬剤防除を実施してください。



写真1 コシヒカリ走り穂
(令和8年7月17日撮影)



写真2,3 すくい取り調査で捕獲した斑点米カメムシ類
(令和8年7月21日撮影)



表 20回すくい取り
調査結果(塩谷町)

種類	頭数 (成虫)
クモヘリ カメムシ	29
ホソハリ カメムシ	10
アカスジ カスミカメ	1

※クモヘリカメムシ成虫が
1匹以上いる場合は防除必要

<斑点米カメムシ類は「**薬剤防除**」と「**畦畔草刈り**」を組み合わせる防除をしましょう！>

- ・水田をよく観察し、斑点米カメムシ類を確認した場合は、薬剤防除を行いましょう。
- ・草刈りは、①水稻の出穂2～3週間前＋②水稻の出穂期頃の2回行いましょう。

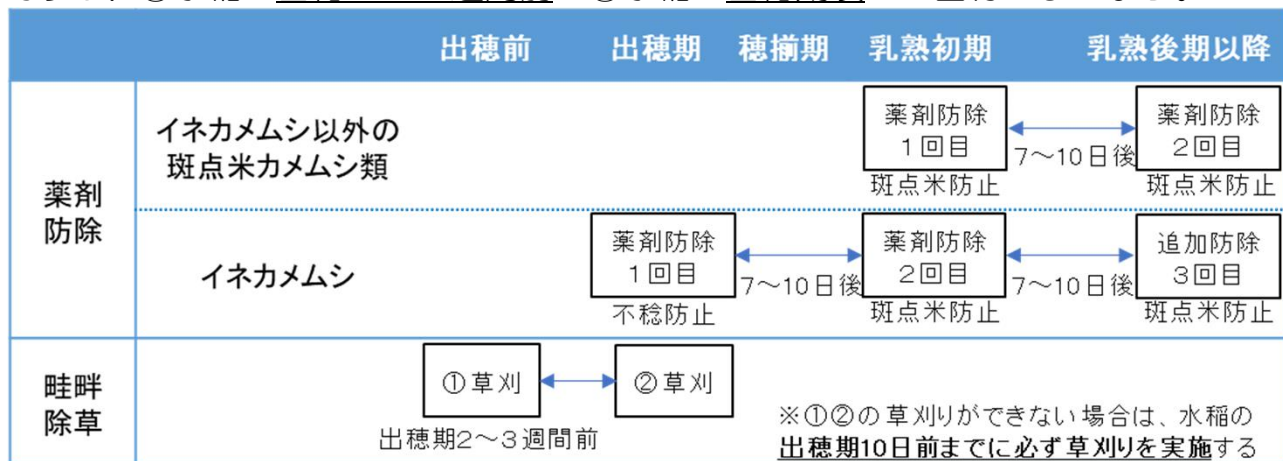


図 斑点米カメムシ類の総合防除体系 ※出穂期：全茎の4～5割が出穂した時期

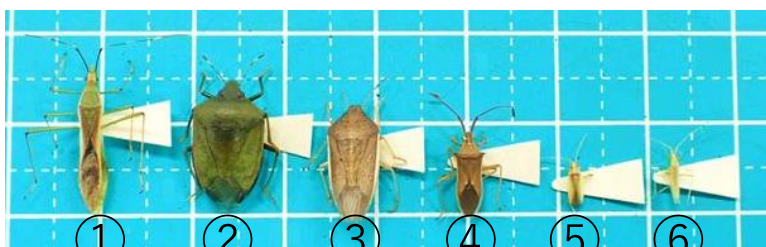


写真4 栃木県内で発生する主要な斑点米カメムシ類 (農業総合研究センター提供)

- ①クモヘリカメムシ
- ②ミナミアオカメムシ
- ③イネカメムシ
- ④ホソハリカメムシ
- ⑤アカスジカスミカメ
- ⑥イネホソミドリカスミカメ



防除対策や発生
予測は栃木県「カ
メムシ防除作戦」
HPでご確認を